

# 卒業生インタビュー

Interview

名鉄観光サービス株式会社 **勝部 真美**さん

■ Profile 2007年3月 経済学部企業経営学科 卒業  
2007年4月 名鉄観光サービス株式会社 京滋支店 営業掛に配属。  
アウトセールスを担当し、役所や学校、組合、法人などを回って、親睦や研修、視察旅行などの受注やバス、JR、航空機の手配を行うほか、自ら添乗に行くこともある。



Q. 経済学部企業経営学科を選ばれたのはなぜ？

A. 文学部の英文科に興味があり、滋賀大学もいいなと思っていましたが、文学部がないので迷っていました。でも経済学部だと卒業して社会人になってからいろいろ役立つ勉強ができるのではと思い、担任の先生からも国立で彦根という良い場所にもあるし、目指してはどうかと勧められて受験しました。

Q. 滋賀大学で学ばれていかがでしたか？

A. オープンキャンパスで見学した京都市内の大学とは違って、最初はこじんまりした印象を受け、私が思い描いていた大学とはちょっと違っていました。でも4年間学んでみて、アットホームな雰囲気が自分にはよく合っていたと思います。マンモス大学だと、人に埋もれてしまっていたかも……

Q. 滋賀大学の良いところは？

A. だれとでもすぐに親しくなれるところでしょうか。大学までの通学路が彦根城のお堀に面しており、春は桜、秋は紅葉と景観の移り変わりを眺めるのも楽しみでした。

Q. 在学中滋賀大学への要望はありましたか？

A. 食堂の席がすぐに埋まってしまうので、もう少し席数を増やしてもらえたらと思いました。\*メニューはどれも安くおいしかったです。私の好物は魯肉飯(ルーローファン)という甘辛い豚肉かけご飯でした。



Q. クラブの思い出を聞かせて下さい。

A. 空手道部に所属していましたが、一番の思い出は真冬の琵琶湖に入って行く寒行(かんぎょう)。道着を着て学校からはだして湖岸まで走り、準備体操で体を温めてから、一直線に並んで主将のかけ声の下、突きをしながら一步步琵琶湖に入っていきます。みんなは腰の位置まで、私は背が低いので首ぐらいまで湖水につかり、円になって掛け声をかけ、一人10本ぐらいずつ突きながらみんなで回して行きます。一通り終わったら陸に上がって暖をとり、また同じことを繰り返すというのを3年間続けました。おかげで大抵のことではへこたれなくなりました。

空手道部で培った忍耐と根性を活かし、お客様からの笑顔や拍手を励みに頑張っています！

Q. 旅行業界に進まれた理由と就職活動について教えてください。

A. 旅行会社のカウンターに置いてあるパンフレットなどを読むのが好きで、観光コースを自分で考えてみたいと思ったのがきっかけです。旅行に行った気分になれるので(笑)。就職活動を始めたのは、3回生の11月末ぐらいから。「就職博」に一人で行くことから始め、会社説明会などに参加。主な情報源はネットや会社のパンフレットでした。内定が決まったのは4回生の6月末頃。早く決まった友達が多かったのであせりを感じたこともありますが、結果的に望みの業界に行けたので、周囲の言動に左右されず、自分をしっかり持って最後までやり抜くことが大切だと思いました。

Q. ゼミではどんな勉強をされましたか？

A. 私は澤木先生のゼミでしたが、3回生の時、経営合同ゼミ合宿で発表するために、CSR(企業の社会的責任)について勉強しようとみんなでテーマを決めて、名古屋のある企業を訪問。経営者の方にお話をうかがって実践的な勉強をしたことが印象に残っています。



Q. お仕事のやりがいは？

A. 営業からプランニング、旅館やバス、食事の手配まですべて担当し、添乗員として同行することもあります。旅行が終わって挨拶した時にお客様から大きな拍手をいただいたり、「ありがとう。ほんとに楽しかったよ」と言われた時は、この仕事を選んで本当によかった!と嬉しくなりますね。

Q. 滋賀大生へのメッセージをお願いします。

A. 滋賀大学の経済学部ほど、学科の多いところはほかにありません。いろいろな勉強ができるし、将来の選択肢も豊富です。自分の可能性を信じて頑張ってください。

## 取材を終えて

澄んだ大きな瞳が印象的な勝部真美さん。大学時代は早朝のコンビニと夜の居酒屋、2つのバイトをかけ持ちしていました。その根性と体力は空手道部で培われたのかも……クラブを通して学んだ年長者との接し方や飲み会での作法は、会社に入ってから役立っていると言います。「夢はマチュ・ピチュやアンコール・ワットなど古代遺跡ツアーのプランを組んで、添乗に行くこと」だそう。小柄な体には夢と元気がいっぱい詰まっていた。



\* 昼食時の混雑の緩和を図るため、学生食堂のリニューアルを行っています。今号特集記事をご覧ください。